

# 第3回 SciREX オープンフォーラム 「科学技術イノベーション政策の新展開」

## シリーズ第五回

# アフターコロナの政策のための科学に向けて -リスクモデルと経済モデルの統合可能性-

参加費  
無料

定員  
500人

2021.1.26 (火) 18:30~20:00

Zoomにて開催

特設HP <https://www.scirex-openforum.info/>

### シリーズ第五回概要

現新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大とその制御をめぐっては、さまざまな科学的知見が、対策の立案および意思決定の過程に用いられています。リアルタイムで感染状況が大きく変化する中、情報の不足や不完全性、限られた組織資源、タイムリミットなどの厳しい制約下にありながら、機動的な意思決定が求められることになります。この約1年間の政策決定過程において活用された科学的知見を振り返ると、大きくは2つのアプローチ、疫学・公衆衛生学の分野における「リスク評価」のアプローチと、外出自粛や営業時間の短縮をはじめとした「経済的影響評価」のアプローチがあったと言えます。しかし、各アプローチはそれぞれ、感染者の感染拡大抑制と経済的被害の最小化という異なる目的に立つことから、多くの場面で独立的に用いられ、リスクモデルと経済モデルの関係性が課題として浮き彫りになったと言えます。これは、世界各国に共通する状況と言えるでしょう。

同時に、このような危機管理下において測定される情報は、その時点では測定不能な情報や、必ずしも科学的な裏付けが明らかにされていない要素をやむを得ず含むことになります。このような特質を持つデータを、政策決定過程でどのようにして考慮し、あるいは採用するべきなのかが大きな課題となりました。

本セッションでは、JST RISTEX「科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム」の中で関連する研究開発プロジェクト代表者からの話題提供と、実際のCOVID-19対策の政策過程に関与した有識者からの基調講演を基に、リスクモデルと経済モデルという異なるモデルを統合することの必要性を改めて検討した上で、両者をいかに統合しうるのか、危機管理下の政策決定における測定可能性バイアスの問題をどのように乗り越えるか、そして、政策過程におけるデータやモデルの活用に関する今後の方向性について議論を行います。

ディスカッションを通じて、根拠に基づく政策形成をさらに一段と先に進めるための具体的な方向性とアプローチのあり方を整理し、今後に向けた手掛かりを得たいと思います。

### 登壇



森田 朗 教授

JST 社会技術研究開発センター長／津田塾大学総合政策学部



阿部 彩 教授

東京都立大学人文社会学部  
平成 30 年度プロジェクト代表者



山縣 然太朗 教授

山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座



武藤 香織 教授

東京大学医科学研究所



伊藤 由希子 教授

津田塾大学総合政策学部  
平成 30 年度プロジェクト代表者

### お問い合わせ

オープンフォーラム運営事務局 : Nagoya\_zoom6@takenaka-co.co.jp

主催

政策研究大学院大学  
GRIPS  
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE  
FOR POLICY STUDIES

SciREX Center

共催・協力

文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

SciREX拠点大学・関係機関

科学技術イノベーション政策は、大きな転換点を迎えています。政策が対象とする範囲は、科学技術の振興のみならず、デジタル技術の急速な普及による社会の変化への対応や、SDGsのように複雑で多様な社会課題への貢献など広がりを見せ、多様なステークホルダーの参画や共創が求められています。更に、新型コロナウイルスの発生は、政策と科学のコミュニケーションや相互の信頼、そしてエビデンスに基づく政策決定について、一部の専門家のみならず、広く社会に対し問題を提起するものとなりました。また、ポストコロナにおける課題解決のための研究開発の振興、人材育成の在り方、サイエンスコミュニティそのものの多様化など、様々な側面で従来とは異なる新たな展開の必要性を突き付けています。今、科学技術イノベーション政策として、何が求められているのでしょうか。政策と科学の関係性はどう進化すべきでしょうか。国内外の動向を紹介するとともに、2011年度から実施してきた文部科学省補助事業・科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」(SciREX事業)における取り組み等も紹介しながら、セミナーシリーズとして多岐にわたる角度から議論します。

## スケジュール

4テーマ・11セッションを、2020年12月下旬～2021年3月にかけて開催します。

テーマ：【1】政策と科学の関係、【2】EBPM、【3】人材育成、【4】共進化

M：GRIPS SciREXセンター主催のメインセッション P：各拠点・関係機関からの提案セッション

#	日時	テーマ	企画者	セッション名等
1	12/22 (火) 18:30-19:30	【1】	GRIPS SciREXセンター	M1：科学と政治、政策
2	1/11 (月) 18:00-19:30	【3】	九州大学 CSTIPS	P1：九州大学CSTIPSにおけるSTI政策専修コースの7年間を振り返る
3	1/18 (月) 18:30-20:00	【2】	GRIPS SciREXセンター	M2：科学技術イノベーション政策におけるEBPM実現の展望
4	1/21 (木) 18:00-19:30	【2】	京都大学 STiPS	P2：EBPMに向けた自治体との連携による健康、医療のデータ活用
5	1/26 (火) 18:30-20:00	【1】	JST 社会技術研究開発センター	P3：アフターコロナの政策のための科学に向けて - リスクモデルと経済モデルの統合可能性-
6	2/5 (金) 18:00-19:30	【3】	GRIPS SciREXセンター	M3：変わりゆく科学技術イノベーション政策のエコシステムと人材育成
7	2/12 (金) 18:30-20:00	【3】	GRIPS GiST・SciREXセンター 東京大学 STIG	M4：科学技術イノベーション政策研究・教育の現在と未来
8	2/16 (火) 18:00-20:00	【1】	東京大学 STIG 大阪大学 STiPS	P4：リスクガバナンスとコミュニケーションの新展開—新興感染症、自然災害、気候変動への複合的対応
9	2/17 (水) 18:00-20:00	【4】	GRIPS SciREXセンター	M5：政策と科学の共進化—その望ましい姿と現実、次のステージに向けて—
10	3/9 (火) 18:30-19:30	【1】	GRIPS SciREXセンター	P6：科学技術外交
報告会	2/17 (水) 時間調整中	【4】	文部科学省	P5：研究開発プロジェクト報告会

※日程やセッション名など、随時更新

## 対象者

科学技術イノベーション政策に関心のある政策立案関係者、研究者、企業、NPO等  
マルチステークホルダーによる政策形成や推進に向けて、  
多様な方々のご参加をお待ちしております。